



## 西アフリカの小児がんの子どもたちが適切な医療を受けるために — 診断の遅れを生む社会的要因の解明 —

*Reducing diagnostic delays in childhood cancer care*

法文学部 准教授 井田 暁子

本研究は、西アフリカ・ブルキナファソにおける小児がんの診断の遅れに着目し、子どもたちが適切な医療にたどり着くまでの過程に存在する社会的・経済的・制度的障壁を明らかにすることを目的としています。現地の医療機関との協力によるデータ分析に加え、患児の家族や医療従事者へのインタビューを通じて、複数の医療施設を経由する過程や、費用負担、病院への距離、家庭内での意思決定、医療体制の不均衡といった要因が診断の遅れに影響していることを明らかにしてきました。

本研究は、単に「医療へのアクセスの問題」としてではなく、社会構造の中で生じる健康格差の問題として小児がんを捉え直す試みです。また、現地の医療者や研究者との協働を通じて、より実態に即した政策的示唆を導き出すことを目指しており、グローバルな健康課題の解決に資する知見の創出に取り組んでいます。

